

第1回奈良県立病院地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成25年10月29日(火)
- 2 場 所 奈良県文化会館 地下1階 多目的室
- 3 出席者 【委員】新川委員、飯干委員、浮舟委員、平井委員
【事務局】高城医療政策部長、榊医療政策参与 他9名

4 会議要旨

(1) 委員長の選任及び、委員長の代理について

- ・委員長は、新川委員に選任
- ・委員長の代理は、平井委員を指名

(2) 評価委員会運営要領について

案のとおり承認

(3) 中期目標・中期計画策定に係る意見について

【全体】

- ・「最高レベル」という表現が気になる。5年間の中期目標と考えた場合、「最高レベル」はどの水準か。5年で何を目指すのか。きちんと整理すべき。
- ・県立病院としての役割を明確にし、他の病院との役割分担やどう連携できるかを含めて考える。
- ・県立病院なので、県民の要望が大きな要素だと思う。県民は県立病院に何を求めているか、を押さえて考える必要がある。
- ・現状認識が必要。患者・スタッフが求めるものをしっかり把握し、5年後の姿を描き、ではどうしていくのかを考える。
- ・職員アンケートは、最初は不満も多いが、一つひとつ対応していくうちに、必ずよくなっていく。5年後には、なんとか見えてくるものがでてくるのでは。それを基盤に次の5年で形にしていく。
- ・アンケートをしたら、職員はフィードバックを求める。やりっぱなしにしないように。
- ・新奈良病院についてどう計画に盛り込むか考える。

【指標】

- ・全体的な意見として、他法人と比べると指標項目が多い。言い換えれば、かなり指標化されているので、計画としてはよくできている。
- ・指標項目が多いので、どこに注力するか、どこを評価するのか、詰める必要がある。
- ・評価にならない指標も見受けられるので、精査すること。
- ・取組項目と指標が合っていないところがある。
- ・財務諸表における指標があまりない。経営改善に向けた指標の設定が必要。

【人材育成】

- ・収入につながるところもあるため、治験や臨床研究の取組があってもいい。医師へのアピールにもなる。教育だけでなく研究も大事にされたい。

【ガバナンス】

- ・設立当初は、トップマネジメントは少し強めがいいと思う。
- ・マネジメントシステムをどう構築していくか。教育・福祉の分野はマネジメントの視点が薄いですが、これからは重要になる。